

西洋美術史 における 〈古典〉と 〈古典主義〉

2018年7月14・15日(土・日)
名古屋大学
文学総合棟7階カンファレンス・ホール



7月14日(土)

開会の辞: 14時

阿部 泰郎(人類文化遺産テキスト学研究センター長)

14時15分～15時45分: 古代美術

司会: 周藤 芳幸(名古屋大学教授)

芳賀 京子(東京大学准教授)

「古代ギリシア・ローマ美術における〈古典〉」

川本 悠紀子(名古屋大学YLC特任助教)

「古代ローマ建築に見られる『ヘレニズム化』」

16時～18時: 中世美術

司会: 栗田 秀法(名古屋大学教授)

奈良澤 由美(城西大学教授)

「初期中世美術における『古代』、『古典』、『擬古』」

木俣 元一(名古屋大学教授)

「ゴシックにおける古典主義とモダニズム」

谷古宇 尚(北海道大学教授)

「ナポリ・アンジュー家の美術と古代」

7月15日(日)

10時30分～12時30分: ルネサンス美術

司会: 松井 裕美(名古屋大学特任助教)

伊藤 拓真(神戸女学院大学准教授)

「古典の形成: チッタ・ディ・カステッロ時代のラファエロ」

百合草 真理子(名古屋大学特任助教)

「16世紀初頭の北イタリアにおけるカトリック改革の動向と古典主義」

秋山 聡(東京大学教授)

「アルプス以北における『古代』の再生と『古典』」

14時～16時: バロック～近現代美術

司会: 木俣 元一(名古屋大学教授)

栗田 秀法(名古屋大学教授)

「王立絵画彫刻アカデミーと古代彫刻」

佐藤 直樹(東京芸術大学准教授)

「ヴィンケルマンの古代受容とドイツ古典主義の形成」

松井 裕美(名古屋大学YLC特任助教)

「20世紀の古代美術受容と古典主義の複層性」

16時20分～17時: 全体討論

討論者: 小佐野 重利(東京大学特任教授)